

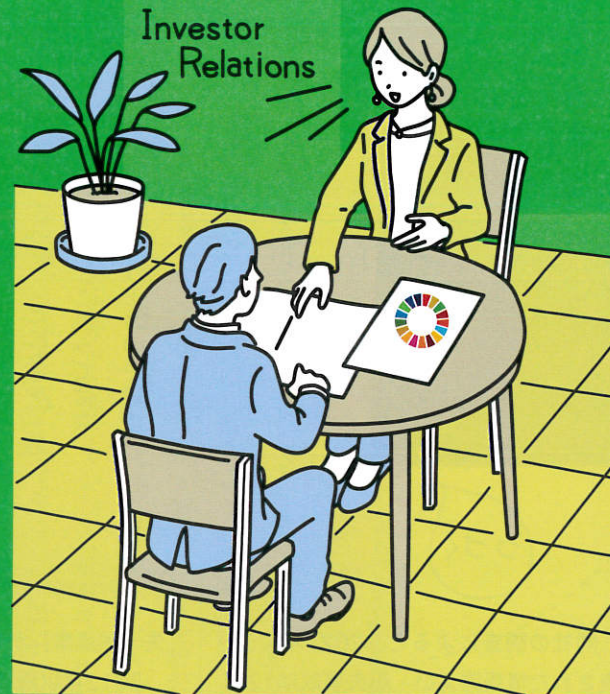


## 企業に求められるサステナビリティ IR・ESG TOPICS

p.89 広報担当者のための  
SDGs実践ノート  
創心會グループ

p.90 ある日、IR担当者になったら…  
IRの学校 SEASON3  
質疑応答の運用方法  
バンカーズ 大森慎一

p.93 担当者が語るIRの現場  
ベネッセホールディングス



IR（インベスター・リレーションズ＝投資家向け広報）の基本の考え方から、企業のSDGs、ESGといった社会課題解決の活動をめぐる、旬な話題まで。広報担当も知っておきたい、新たなトピックスを毎号お届けします。

**岡** 山県を中心に介護事業などを展開する創心會グループ。2020年をSDGs元年と位置付け、健康長寿社会の実現に向けて要介護高齢者たちへのリハビリケアサービスを提供している。

同社は、岡山市が2014年度から開始した「デイサービス改善インセンティブ事業」に参画。本事業は介護サービスを通じて利用者の生活機能を維持・改善させたデイサービス事業所の上位10社を表彰しているもので、創心會は2019年から3年連続で表彰されている。

同社広報CSR部長の河崎崇史氏によれば、同社の介護サービスは「手厚く・優しく、不自由なことをすべて取って代わるものではない」という。利用者と「20年先はどういう生活をしていきたいか」「どういふ亡くなり方を理想としているか」を対話して、そこから逆算した適切なケアを行う。「医療・介護サービスを使う頻度を少しでも減らし、介護予防や生活機能の改善・維持を支援する



利用者や従業員などに配布している広報誌「PRIDEsign」。連載「SDGsな人」では、毎月1人の社員にフォーカスを当て、SDGsにつながる生活や仕事への向き合い方をインタビューしている。

第48回

創心會グループ

### 広報担当者のための SDGs実践ノート

SDGsはコーポレートブランドの確立に欠かせない共通言語。広報担当が社内外に向けて発信するためのヒントを探ります。

## 広報誌で社員を紹介 SDGsをもっと身近に

### SDGs達成のための ステークホルダー・コミュニケーション（一例）

#### 顧客

- グループ内のデイサービスや特別養護老人ホームの利用者をモデルにした写真集を定期的に発行。

#### 従業員

- 広報誌「PRIDEsign」を社内広報のツールとしても活用。連載「SDGsな人」では、SDGsを体現する社員を紹介。

#### 地域社会

- 地域で介護予防・健康教室、出前講座を開催するほか、高齢者や障害者の自立や就労を支援。

ことで、ご利用者様やご家族様の生活の持続可能性を支える。これにより、持続可能な社会保障制度へも貢献していければと考えています」と河崎氏は語る。

こういった理念や取り組みを広報するべく、同社は広報誌「PRIDEsign」を発刊中だ。2カ月に1回、利用者のほか従業員や地域などに向けて計5000部を配布している。

2012年の発刊当初は、サービス紹介やPR中心だったが、2020年6月の100号発刊を機にリニューアル。健康寿命を伸ばすための体調管理の方法や、介護保険の基礎知識などを紹介。利用者やその家族目線で、介護予防の重要性や加齢や障害のリスクに向き合える内容へと変更した。

また、広報誌では同社の事業内容とSDGsの関わりを紹介。連載「SDGsな人」では、毎月1人の社員にフォーカスを当て、日頃の行動や仕事への向き合い方をインタビュー。等身大で身近に実践できる取り組みとして、SDGsへの理解を促す誌面になっている。

「もともと社会貢献意識を高く持って働いている社員に、さらに誇りを持ってもらうためのアプローチとして『SDGsな人』を企画しました。社員にとって当たり前の生活態度や仕事への意識も、SDGsというキーワードで切り出すことで『自分の取り組みが身近な人にも、20年30年後の社会にも影響している』とボルテージを上げることにもつながる。そういった効果を狙っています」。

社内広報の要素も含んだ「PRIDEsign」は、SDGsの社内理解・浸透という役割においても大きな役割を果たしているのだ。

「誇り高く働いている人たちをしっかりと広報することで、それを読んだ社員、そして利用者にもその熱が伝わるはず。発刊を続けていくことで、この輪はさらに広がっていくと思っています」。

如何 No cell phone reception  
 接種疫苗? tax system work?  
 銀行口座の作  
 事故に How do I renew my driver's license?  
 子育てが不安  
 銀創建行  
 免許更新  
 どうやるの?  
 外国人、困っています。  
 日本で暮らす外国人に母国語でちゃんと情報を届けませんか?  
 わからない  
 Where is the emergency shelter?  
 組込みの仕

外国人、困っています。  
 日本で暮らす外国人に母国語でちゃんと情報を届けませんか?  
 わからない  
 Where is the emergency shelter?  
 組込みの仕

WOVN.io  
 WOVNならWebサイトを最短5分で多言語化  
 ウォーブン 検索  
 雑誌 13793-10  
 4910137931022 01182

乙報会議 10 OCT. 2022 No.165  
 各地の成功事例を解析 地域・自治体の広報 / 定期購読特典「IRの現場から」総集編  
 定価1300円 本誌1182円(税10%)  
 乙報会議 10 OCT. 2022 No.165  
 2022年10月1日発行(毎月1日・10日発行) 通巻165号 第三種郵便物承認 発行人:東 彦弥 編集長:浦野有代 2022 Printed in Japan  
 〒107-8950 東京都港区南青山1-1-13 株式会社宣伝会議 広報企画編集部 TEL.03-3475-7660 ©株式会社宣伝会議

「自治体広報」新時代 実践! 自分たち基準ではなく社会・住民目線の発信

月刊 乙報会議  
 10 OCT. 2022 No.165  
 組織と社会の未来を拓く

特集 各地の成功事例を解析

地域・自治体の広報



- 官民連携で地域の魅力を高めるニュース発信
- 自治体ウェブサイト実態調査

REPORT シティプロモーション企画の作り方

定期購読者限定特典  
 「IRの現場から」総集編